

おごせ 教育 Pick Up



越生小学校

4月8日、入学式が行われ、54名の新1年生が仲間入りしました。新型コロナウイルスの影響で参加者制限はありましたが、例年どおり準備も整い、落ちついて式に臨む新1年生の態度はとても立派でした。

梅園小学校

令和2年度の入学式では12名の新入生を迎え、全校児童67名が元気いっぱいスタートしました。少し緊張した様子の1年生でしたが、大きな声で返事ができ、話を聞く態度もとても立派でした。



越生中学校

3月13日、88名の3年生が越生中学校を巣立っていきました。新型コロナウイルスの影響で、来賓・保護者・在校生もいない式場でしたが、自信に満ちた表情で立派に成長した姿を見せてくれました。卒業生の皆さんの活躍を応援しています。



おごせっ子広場

町内の小中学校や町の行事等に参加する子供たちを写真で紹介するコーナーです。

ズームイン教育272

令和2年度 越生町の教育における 主な改修・整備事業

令和2年度の学校教育施設・設備等の主な改修・整備について紹介します。

1. 越生小学校トイレ大規模改修事業について

令和元年6月に国の学校施設環境改善交付事業に手をあげ交付決定を受け、令和2年度に繰越したものです。事業費は、約1億4000万円ほどになります。

2. 校内通信ネットワーク整備事業について

この事業は、国の公立学校情報通信ネットワーク環境施設整備費補助金を受けて、越生町小、中学校3校の校内LAN環境を整備するもので、事業費は約3700万円ほどになります。

人一台コンピュータ」につなげていくためのものです。ICTを活用した多様な授業や各家庭との通信へとつなげていきたいと考えています。

3. 越生中学校上グラウンド改修事業について

越生中学校の上グラウンドは、学校教育のサッカー、野球の活動や、社会体育の競技場として、開校以来使用されています。

水はけなどグラウンドコンディションを改善するため、上グラウンドを約390万円の工事費で整備します。

4. 梅園コミュニティ館

梅園コミュニティ館には、現在梅園学童で2室、図書館分室で1室、会議の貸出用で2室の部屋があり利用されています。

今回の事業は、建物東側のプールを解体し駐車場を広くし、利用していただきやすいようにするための工事です。工事費は、370万円ほどになります。7月中の改修を予定しております。

この事業は、国が目指す「一

越生浪漫

No. 136

世界無名戦士之墓



駅から見える世界無名戦士之墓

東武越生線ホームから西口に通じる連絡通路を進むと、大観山の山頂に白色の建物、世界無名戦士之墓が見えてきます。ハイキングや観光に来た方が最初に目にする、越生町のランドマークです。



現場を視察する大沢元知事(左)と長谷部秀邦(右)

没者を偲び、感謝と敬意を表す「国家的尊崇の表徴」を建設しようという趣意によって計画されました。「無名戦士」の名称は、敵味方、将兵の階級に関係なく平等におまじりするという意味で付けられたものです。

これを発意した県会議員で、当町の医師、長谷部秀邦氏が、昭和25年(1950)、世界無名戦士之墓建設委員会を組織し、建設活動をスタートさせました。

建設作業

昭和26年(1951)、衆参両院に「世界無名戦士之墓建設に関する請願書」を提出・採択され、翌年に建設作

業に着手しました。

山裾の正法寺から山頂の建設地までの山を切り開き、軌道を設置してトロツコを走らせ、建築資材を運搬しました。なお、アメリカ軍及び保安隊(自衛隊)が重機提供を行い、作業は地元民の勤労奉仕によって進められました。

完成

昭和29年(1954)8月30日、世界無名戦士之墓が竣工しました。建物裏手の定礎板には、設計管理者の埼玉県土木部建築課技師、高岡元次氏や町内の工事関係者の名が刻まれています。

太平洋戦争開戦から15年目の30年12月8日、遺骨が納められ、落慶式が行われました。

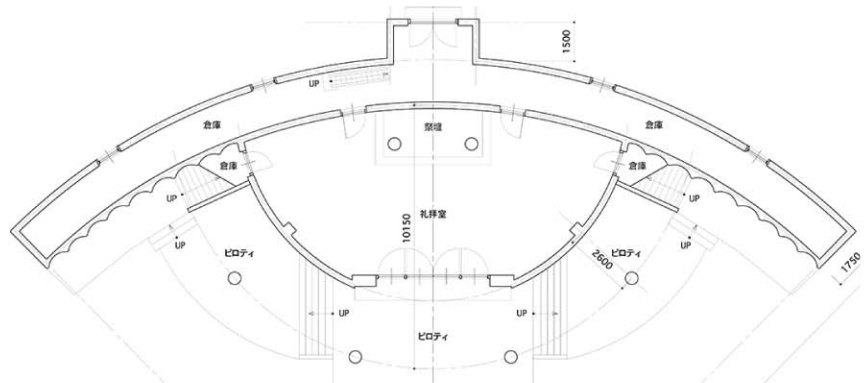
建物

建物は鉄筋コンクリート造3階建てです。

1階は礼拝室で、中央に祭壇が設けてあります。祭壇には県内だけでなく県外出身の無名戦士の位牌も祀られ、さらにビルマ戦やフィリピン戦での戦没者、世界の英霊を祀る位牌も置かれています。奥は倉庫になっており、その上の2階、3階は木製の遺骨棚

が設けられた納骨室です。

外観は白セメントの吹付けで、正面には33のひだがデザインされています。このひだの上部(屋上)には、国旗を立てられるように穴が開けられています。これは当時の国連加盟国33ヶ国の数で、平和を願うメッセージを世界に発信したものだといえます。



世界無名戦士之墓 1階平面図(伊郷吉信氏作図)



世界無名戦士之墓 外観

2階ステージは関東平野を一望できる展望台として開放されており、ハイカーや観光客で賑わっています。

登録有形文化財に

世界無名戦士之墓は、県の補助金だけではなく、関東、甲信越各県を主とした全国の小中高校生から募った浄財と一般からの寄付によって完成されました。さまざまな年代の賛同者の意志が形となって作られた世界無名戦士之墓は、今では越生町を代表するモニュメントです。「国土の歴史の景観に寄与しているもの」に該当し、令和2年4月3日付けで、登録有形文化財に登録されました。